

(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部通信 第20号 2009年2月

事務所：佐賀市水ヶ江4丁目2-2 TEL&FAX 0952-28-2077

e-mail [unicef-saga@ams.odn.ne.jp](mailto:unicef-saga@ams.odn.ne.jp)

URL <http://www.2.odn.jp/unicef-saga/>

支部通信はホームページでもご覧いただけます

**ハンド・イン・ハンドへのご協力  
ありがとうございました。  
総額 1,452,979円!!**

～守りたい『子ども達の命、

アフリカの未来』～

まもなく弥生3月。あちこちから雛祭りイベントのニュースが伝わってきます。外の風はまだ冷たいけれどガラス越しの太陽の光は春そのもの、お元気でお過ごしていらっしゃいますか？

昨年11月、12月の両月を通して行いました第30回ユニセフ・ハンド・イン・ハンド。世界的な景気の後退の中でも総勢285名のボランティアの参加をいただき、募金総額は1,452,979円にも達する大きなご協力をいただくことができました。本当にありがとうございました。



©UNICEF/HQ07-0108/Thierry Delvigne Jean

# 第30回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド in 佐賀県

『守りたい。子どもたちの命、アフリカの未

12月14日(日) **佐賀市**: ゆめタウン佐賀、イオンスーパーセンター佐賀店

12月21日(日) **佐賀市**: 佐賀玉屋デパート前、ジャスコ佐賀大和店、ホームワイド佐賀大和店、ベスト電器佐賀大和店

**上峰町**: 上峰サティ1 **小城市**: バニーズ三日月店 **鹿島市**: ピオ、ララベル

好天に恵まれた14日と、あいにくの雨模様となった21日の両日にわたって、小・中学生と引率の皆様、高校生、大学生、ボーイスカウト、カブスカウト、多くのボランティアの皆様とともに、「守りたい。子どもたちの命、アフリカの未来」をテーマに、募金活動が行われました。

「アフリカの子どもたちのためにご協力をおねがいしま〜す!」「4円あると一人の子どもに一年分のビタミンAを届けることができま〜す!」と大きな声で協力を呼びかけました。



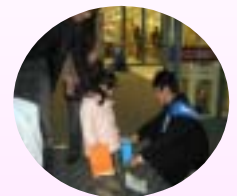
ゆめタウン佐賀



イオンスーパーセンター佐賀店



ジャスコ佐賀大和店



募金に温かいお気持ちをお寄せいただいた多くみなさま  
快く会場をご提供くださった企業みなさま  
本当にありがとうございました



バニーズ三日月店



佐賀玉屋前



上峰サティ

# 世界の子ども達は、今



© UNICEF HQ/2009/El Baba

ガザのベイトラヒヤにあるオマル・ベン・アル・カサブ学校を訪れる国連の子どもと武力紛争に関する国連事務総長特別代表のラディカ クマラスワミ氏

## ガザ人道支援第 11 報

【2009 年 2 月 5 日ニューヨーク】

### 国連の子どもと武力紛争に関する国連事務総長特別代表 ガザとイスラエル南部を視察

国連の子どもと武力紛争に関する国連事務総長特別代表のラディカ クマラスワミ氏が、今週、ガザとイスラエル南部を訪れ、子どもたちの状況を視察し、国際社会に子どもたちの保護を求めました。

クマラスワミ氏は、ユニセフスタッフと共に、ガザ地区北部とその周辺にあるコミュニティセンター、学校、病院を訪れました。クマラスワミ氏は、ガザ地区の境界閉鎖を解除し、人道支援団体がアクセスできるよう求めました。「子どもたちは、国際社会からの応えを求めています。国際社会は、子どもたちに支援を届けなければなりません。」クマラスワミ氏は、このように述べました。

#### ガザ地区内外の損失

クマラスワミ氏が視察に訪れたガザ東部近くのザイトウンにある学校では、アルマザ・ヒルミ・アル・サムニさん（13 歳）が、ユニセフのパートナー団体である「民主主義と紛争解決のためのパレスチナセンター」が行っているカウンセリングを受けていました。アルマザさんは、クマラスワミ氏に、母親を亡くしたアルマザさんと同じような子どもたちと会ってほしいと話しました。

「私の家族は、私のすぐ目の前で死にました。家族を守るためにできたことは何もありませんでした。」アルマザさんは、家族のことについてこう語ってくれました。

クマラスワミ氏は、イスラエルの子どもたちもまた、いまだ恐怖を抱いて生活していると指摘し、一般市民が住んでいる地域への無差別なロケット弾攻撃を停止するよう訴えました。

### パレスチナ暫定自治政府 ガザ地区

本部 ラマッラ（西岸地区）

面積 約 6,020 平方 km

（西岸地区 5,655 平方 km 三重県と同程度

ガザ地区 365 平方 km 種子島と同程度）

パレスチナ人総人口

約 1,009 万人（2005 年末パレスチナ中央統計局資料）

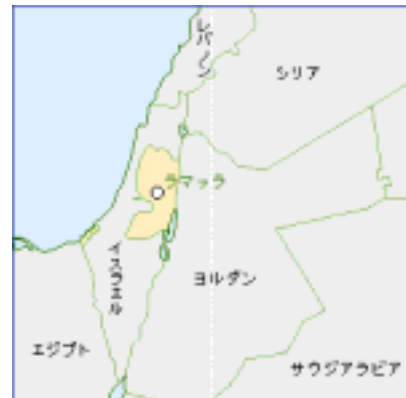
（1）西岸・ガザ地区の人口：約 383 万人

西岸地区 約 241 万人

ガザ地区 約 142 万人

（2）イスラエルのパレスチナ人口：約 113 万人

（3）上記地域以外のパレスチナ人口：約 513 万人





© UNICEF HQ/2009/El Baba

ガザのベイトラヒヤにあるオマル・ベン・アル・カサブ学校の授業を受ける子ども。160校以上の学校がこの武力紛争の影響を受け、約54万人の子どもたちが一ヵ月以上学校に通うことができなかった。

緊急時にも欠かせてはいけないニーズであり、開発に必須なものです。いかなる緊急支援活動においても、教育は、優先課題としなければなりません。」

1月26日、学齢期のガザの子どもたち1万400人のために、ユニセフは、教科書、ペン、鉛筆などの物資を含む「スクール・イン・ア・ボックス」130セットを提供しました。また、6,700人以上の子どもたちにスポーツ用具、その他の娯楽用品などを含んだレクリエーションキットを約85セット、4,200人が学習できる算数と科学キットも提供しました。

### 安全な環境を提供

最近の武力衝突が起きる以前から、ガザの子どもたちは、何年にもわたる紛争、封鎖、十分な社会サービスの欠如、貧困に苦しんできました。コミュニティの対処能力は既に、この武力紛争の前から蝕まれていたのです。子どもたちが健康に育つには、基本的なニーズへのアクセス、安心感の醸成、安全な環境が必要不可欠です。

「ユニセフは、ガザに、人道支援物資と人道支援活動スタッフが、定期的に、十分に、そして容易にアクセスできるよう求めています。」クマラスワミ氏の視察に同行したユニセフ・パレスチナ自治区事務所のパトリシア・マックフィリップス特別代表は話しました。

国連の子どもと武力紛争に関する国連事務総長特別代表は、国連総会の委任により、武力紛争下の子どもたちのため、(どこかの機関に所属するのではなく)独立した形でアドボケート(唱導)する役割を担っています。ユニセフは、武力紛争下の子どもたちの権利の深刻な侵害を監視し、報告している国際協調グループの中心メンバーです。

砲撃による人道危機の最大の犠牲者は子どもと女性たち。

ガザ地区内に活動拠点を持つユニセフは、トラウマを負った子どもたちへのケア、医療品の配給、給水施設の復旧など支援活動を開始しています。

【資料提供：日本ユニセフ協会】

### 基本的権利としての教育

また、クマラスワミ氏は、ガザのベイトラヒヤにあるオマル・ベン・アル・カサブ学校も視察しました。この学校では、最近の武力衝突で深刻な被害を受けた近隣の学校から、400人の生徒を受け入れているため、現在、2回の交代制を組んで授業を行っています。

ガザ全土の160以上の学校が、この武力衝突により損壊しました。国連パレスチナ難民救済事業機関は、学校が武力衝突により休校となってから一ヶ月たった1月24日に、学校が再開されたと報告しました。

「子どもたちが心の傷から回復するには、学校を再建し、子どもたちが安心して教室に戻れるようにすることが何よりも重要です」とクマラスワミ氏。「教育は、基本的な権利であり、

# 活動報告

11月20日(木) 小城市立三日月小学校 ユニセフ出前授業

天山に雪が積もる寒い日でしたが、全校の皆さんは体育館に集まり「じんけん集会：テーマ～いのち」の学習をしました。

生きるためにはなぜ水が必要かをクイズで考えたり、アジアやアフリカの子どもたちがどのようにして水を求めているのかを視聴したりして、「いのちと水」について考えました。また、ネパールで使われている水がめを使っての水運び体験もしました。



〔学習を終えて〕

思っていたよりも水運びは重くてきつかったです。これを1日に何回も、毎日しなくてはならないのは大変だろうと思いました。

飲み水にできる淡水は少ししかないと分かったので、ぼくはこれから水を大切にしようと思いました。

11月24日(月) さが国際交流・協力フェスタ2008ユニセフ講座  
アバンセ4階(佐賀市どん3の森)

第 部 ユニセフってなあに? ユニセフクイズ

クイズを通して、ユニセフについて知っていただきました。

第 部 講演会

演 題 「アフガニスタンの子どもたちと基礎教育」

講 師 小野康子さん(JICA ジュニア専門員)

小野康子さんは、2007年より2008年8月まで教育の企画調査員としてJICAアフガニスタン事務所で基礎教育セクターへの支援に関わられました。現在ジュニア専門員として、JICA本部基礎教育グループにおいて、アフガニスタンの基礎教育セクターを担当し、プロジェクトの運営管理に携わっておられます。



お父さんと一緒に考えたよ  
ヤッター!全問正解



写真を見て:「この少年は何をしているのでしょうか?

お隣の人と話し合ってください。」

アフガニスタンの基礎情報のお話の後、識字教室やカブール市・マザリシャリフ市の学校の様子、アフガニスタンの教育制度、課題などについて詳しくお話しいただきました。2002年、ユニセフの「Back to school campaign」は大きな成果があり、たくさん子どもたちが学校に通うようになったということです。

小野さんは「子どもたちが安全に学校に行けるようにすることが第一。」と話を結ばれました。それは、とりもなおさず、私たちの願いでもあります。アフガニスタンの子どもたちが一人でも多く安心して学校に行けるよう、これからも支援を続けたいと思います。

12月9日(火)

募金贈呈式 事務所にて



佐賀市立東与賀中学校では毎年ユニセフ募金活動に取り組んでいます。今年も生徒会総務部の皆さんが11月いっぱい各クラスに募金箱を設置して生徒の皆さんに協力を呼びかけました。

総務部の皆さん3人と担当の先生が事務所を訪問され、全校の皆様からご協力いただいた募金を贈呈されました。「アフリカの子どもたちのために役立ててください。」と手渡されました。

12月9日(火)

出前授業 佐賀市立城北中学校にて

人権集会「子どもの権利について考えよう～児童労働～」



城北中学校では人権週間にあたって人権集会が行われました。各学年代表者の「人権作文」の発表があり、その後に「子どもの人権について考えよう～児童労働～」という演題でお話をしました。生徒の皆さんは熱心に話を聞き、児童労働によって子どもたちの「生存する権利」や「育つ権利」が守られていないことに気付きました。そして「児童労働」に、自分はどのような係わりがあるのか等について考えました。

〔学習を終えて〕

今日は、私たち城北中学校の生徒のために、「人権」について本当にためになる話しをして頂きありがとうございました。私たちと同じくらい年齢の子どもが厳しい労働を強いられたり、簡単に売られたり、兵士として戦場に連れて行かれたり…。今の日本の子どもたちでは考えられないようなことが世界では当たり前のように起こっていることを知りました。私たちは今ふつうに暮らしていますが、世の中には学校にも行けず苦しんでいる人がいる。そのことを忘れずに世界の人々がみんな平等に幸せに暮らせる世の中をつくっていかねばと強く思いました。(3年男子)

12月10日(水)

出前授業 佐世保市立相浦小学校高島分校

全校生徒12名の佐世保市立相浦小学校高島分校のみなさんは、今年も一年間牡蠣の養殖に取り組まれ、その売り上げを「世界の子どもに役立てて」と32,910円もの募金を寄せてくださいました。

クイズやすごろくゲームを通じてのユニセフ授業で栄養について学んだ子ども達3秒に一人命を落としている世界の子どもの実情をなんとかして命を救いたいとか井戸ができるということはすごいことなんだと感心したり素直な心で感想を寄せて下さいました。

授業の後は体育館に移動お揃いのオレンジのTシャツに身を包んだ12名の子ども達学園天国の歌と演奏、そして踊り……素直な気持ちそのままの歓迎でした。



12月2日(火)～12月15日(月)

# unicef in Tamaya

## ユニセフ・パネル展&ユニセフカード展

ユニセフ・パネル展「アグネス・チャン大使の中国大地震視察記録」を、12月2日から15日までの2週間、佐賀玉屋デパートのご協力で開催しました。

年末のお買い物のお客様は写真の前で足をとめ、2008年5月12日、中国四川省などを襲った大地震による大災害の様子をご覧になっていました。死者、行方不明者は8万8千人。発生時間が授業時間中に重なったため、学校の倒壊などにより、多くの子どもたちの命が失われました。命拾いをした子どもたちも、親や住む家などをなくして、この冬をどのような思いで越すことでしょうか。

ユニセフカード展「一枚のカードで守る 子どものいのち」は12月7日(日)佐賀玉屋南館アーケードにて行いました。冷え込んだ一日にもかかわらず、関心を持って下さる方の参加も多く、有意義な一日になりました。ユニセフグッズの頒布も行いました。

パネル展をご覧になった方から事務局に次のようなコメントが寄せられました。

「佐賀玉屋で開催されていた、アグネス・チャンが視察した中国四川省大地震のユニセフ写真展の感想について述べさせていただきます。被害状況を写真とメッセージで見て感じた事ですが、ひどい状況でした。老朽化した建物の崩壊が多く、その中に両親が生き埋め状態で死亡しており、親を失った子ども達が沢山いて可哀想と思うと同時に、みんなのちょっとした援助によって支援が出来るのではないかと思います。この子ども達が、ストリートチルドレンになってしまうのだろうか？政府による子どもたちの保護と教育の保障をしていって欲しいものです。UNICEF や JICA、その他 NGO・NPO の活動が皆さんに理解され、支援してもらおう事によって、子どもたちを守るための活動も広がるものだと思っています。」(Y・Tさん：男性)



ユニセフ・カードやギフト製品は、世界各国の芸術家・所蔵家・芸術関係者の方々より作品複製許可をいただいて製作しています。

ユニセフ・カードは、定価から製作費や管理運営のための諸費用を差し引いた分(約50%)が世界150以上の国と地域におけるユニセフの現地活動資金等として、子どもたちの幸せと輝く未来のために役立てられます。

送料は実費のご負担をお願いします。

カタログご希望の方は下記までご連絡ください

TEL/FAX 0952-28-2077

E-mail [unicef-saga@ams.odn.ne.jp](mailto:unicef-saga@ams.odn.ne.jp)

12月25日(木)

ユニセフ学習 佐賀県支部事務所にて



学校が冬休みに入った25日、佐賀清和中学校3年の生徒さんが「世界の子どもたちのことをもっと知りたい。」と事務所を訪れました。秋の文化祭では学校のユニセフ委員会で「水とトイレ」の問題について調べて発表しました。小学生のときにマザー・テレサの活動を知り感銘を受け、将来は医療活動で途上国の人々の力になりたいという夢を持ち、自主的に事務所を訪問しての勉強です。質問事項を用意しての積極的な学びの姿でした。

〔学習を終えて〕

世界には出生登録をされていない子どもたちが半数以上もいるということに驚き、そのことがもたらす様々な問題を考えました。また、HIV/エイズが小さな子どもたちにも関係があるということ、保健と衛生の問題、子どもの兵士の問題、児童労働の問題、人身売買の問題など知らないことばかりで驚きました。勉強に来てよかったです。マザー・テレサの活動の原点は宗教だったけど、私は医師になって医療活動で子どもたちをささえたいという希望がさらに強くなりました。

1月22日(木)

出前授業 三潯郡大木町立大溝小学校6年

テーマ「この世界に生きる子どもたち」～自分たちにできること～



6年生の皆さんは、総合的学習の時間に世界の様々な国や地域の子どもたちのくらしを調べてきました。

今日はユニセフの資料「この世界に生きる子どもたち」を通して、自分たちにできるボランティア活動に発展させる予定です。

「くすりはどれだ？」の活動で文字が読めないことの不安さや戸惑いを体験したり、ネパールの水がめで水運び体験をしたりしました。また、様々な困難な状況下で生きている世界の子どもたちの様子をユニセフのビデオを通して知りました。

〔学習を終えて〕

大人はみんな文字が読めると思っていたけど、世界には学校に行く機会を奪われて、大人になっても文字が読めない人がいることを知った。文字を読めることは大切なことだと思った。

世界には3秒に一人の割合で子どもが死んでいっているのを知った。いろいろと助け合っていくことが大切だと思った。自分には何ができるかこれから考えたいと思う。



どれがくすり？

- (1) يانی
- (2) ذہر
- (3) دوائی



1月30日(金)

募金贈呈式 柳川市立大和小学校

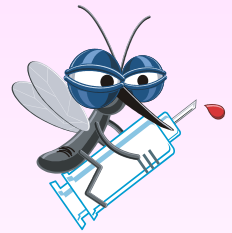
大和小学校では運営集会委員の皆さんが12月に2週間、毎朝校門に立ちユニセフ募金活動をしました。

1月の全校集会の場で、そのとき集まった募金23,152円の贈呈がありました。大和小学校の校訓の1番目に掲げられている「健康」を受けて、「子どもたちが健康に育つことはユニセフの願いです。」とお話し、アフリカでは、マラリアにより30秒に1人の割合で子どもが命を落としていること、マラリアから子どもたちを守るために有効な方法として殺虫剤処理を施した蚊帳の使用があることなどを、蚊帳を見せてお話ししました。

〔運営委員の話〕

募金をしているとき、協力してくれる人に「ありがとう」と思ったり、「これで何人の子どもたちが助かるかな?」と思ったりした。

蚊にさされてマラリアになって30秒に1人の割合で子どもが死ぬなんておどろいた。みんなのお金で世界の子どもたちの命が助かるとうれしいです。



Let's unicef



## ボランティアは出会いの場

カン リッカ  
韓 立佳さん

(佐賀大学大学院教育学研究科)

私は、中国からの留学生です。今、佐賀大学大学院教育学研究科で日本古典文学を研究しています。

去年4月から大学の先生の紹介で日本ユニセフ協会佐賀県支部にボランティアとして入りました。今までに、ユニセフ佐賀県支部のスタッフと一緒に神埼市の小学校へ行き、「水から世界を考えよう」というテーマで、子どもたちと一緒に活動しました。活動の中で「水」の中国語の発音「shui」を子どもたちに教えたり、作業を手伝ったり、一緒に遊んだりしてとても楽しかったです。

ユニセフのボランティアを通して、いろいろな人と出会って、勉強や生活についていろいろなアドバイスをさせていただきます。

ユニセフのボランティアに入ったことは、私にとってとても意義あることだと考えています。



# ご協力ありがとうございます

団野法律事務所様 最所安田法律事務所様 我楽多会様 佐賀ギター音楽院様 みねまつ歯科医院様  
大和町はなみずき会様 ホンダパーツ西南佐賀営業所様 矢山クリニック様 内田整体院様  
ヘア&フェイスドゥース様 不二家様 (株)村岡屋卸本町店様 (株)村岡屋駅南店様 北島様  
川崎自工様 佐賀市文化会館様 エクセルウィンズ様 Hear & Make EXCEL 様 サンシャレー様  
TSUTAYA 様 レストランカンフォーラ様 いっせい麺処様 佐賀空港ターミナル様 吉原内科様  
モンテカルロ太陽様 ローソン佐大前様 ホテルニューオータニ佐賀様 栗原内科消化器科医院様  
風羅坊様 蜂谷法律事務所様 アルタ開成店様 アルタ高木瀬店様 サウンドスピリッツ様  
東洋館様 三瀬そば様 山小屋ラーメン南佐賀店様 山小屋ラーメン川副店様 恵比寿鍼灸整骨院様  
多布施クリニック様 ファミリーマート大和店様 富士町高齢者サロンぬくもりの会様 モトシマ様  
佐賀リハビリテーション病院様 ようどう館佐賀校様 ようどう館大和校様 カイセイ薬局荒江店様 (株)  
筑紫建設様 浄土真宗本願寺派佐賀教区少年連盟様 矢ヶ部小学校様 相浦小学校高島分校様  
ボーイスカウト佐賀1団カブ・ビーバースカウト隊様 昭栄中学校生徒会様 昭栄中学校2年生様  
東与賀中学校様 日本バプテスト連盟佐賀キリスト教会様 佐賀シール工業様 成穎中学校様  
第一生命保険相互会社佐賀支社様 母子草様 大和小学校様 鳥栖西中学校様 田口電機様  
啓成中学校プラスバンド部様 立正佼成会唐津教会様 有浦中学校生徒会様 相知中学校生徒会様  
佐賀市医師会立看護専門学校様  
佐賀玉屋デパート様 ゆめタウン佐賀店様 イオンスーパーセンター佐賀店様  
上峰サティ様 パニーズ三日月店様 ジャスコ佐賀大和店様 ピオ鹿島店様  
ララベル鹿島店様 ベスト電器佐賀大和店様 ホームワイド佐賀大和店様 イ・ニーズ様  
雇用・能力開発機構佐賀センター様 北川副公民館様 大塚製薬佐賀工場様 小野商店様  
LOVE FM 様 道海島小学校様 大川小学校様 三日月小学校様 みのり歯科診療所様 賀昌院様  
千代田中部小学校様 本庄公民館様 サニーハウス様 小城高校様 うめづ歯科様  
佐賀県高等学校家庭クラブ連盟様 共栄銀行秘書グループ様 (2008年11月21日~2009年2月20日)



いろいろな形でのご支援ご協力を心から感謝申し上げます。個人のみなさまからもたくさんのご支援をいただ  
いていますが、平成17年4月1日からの「個人情報保護に関する法律」施行に伴い、個人の方のお名前の  
掲載は控えさせていただきます。

## これからの予定



3月8日(土) 出前講座「ユニセフ村の子どもたち」佐賀市アバンセ

これは、なあに? どうして使うの?

ワークショップ「水とトイレと子どものいのち」

\*詳しくは同封のチラシをご覧ください。

5月3日(日) 有田陶器市募金活動&ユニセフグッズ頒布

有田町 今右衛門古陶磁美術館前

5月17日(日) ユニセフチャリティーバザー 佐賀市佐賀玉屋デパート南館

\*詳しくはP.10をご覧ください。

**ボランティア募集中!!!** 上記イベントのお手伝いをしてくださるボランティアを  
募集しています。皆様のお力をお貸しください。お問い合わせは事務所まで。